

# 2019

# NETIS技術説明会

## 注目のNETIS 登録技術を紹介

発表対象は、いずれもNETIS(新技術情報提供システム)に登録された新技術・新工法です。  
メーカーなどの担当者が、概要や特長などを紹介します。

**日時** 2019.5/22 水  
13:00~17:05 (受付12:00~)

**会場** 広島県JAビル  
10階講堂  
(広島市中区大手町4-7-3)

定員  
120人

## —NETIS技術発表会プログラム—

13:00 ~13:25 「移動式ネットワークカメラ『モニタリングミックス』」  
／株式会社アシストユウ

13:25 ~13:50 「マルチジェット工法」  
／マルチジェット工法協会

13:50 ~14:15 「G栈橋」  
／太洋ヒロセ株式会社

14:15 ~14:25 休憩(10分間)

14:25 ~14:50 「土留部材引抜同時充填注入工法」  
／協同組合Masters

14:50 ~15:15 「JETCRETE(ジェットクリート)工法、PneumaX(ニューマックス)工法」  
／ケミカルグラウト株式会社

15:15 ~15:40 「テラメッシュ工法、SECURE-G工法」  
／エターナルプレザーブ株式会社

15:40 ~15:50 休憩(10分間)

15:50 ~16:15 「コンクリート版沈下修正工法」  
／アップコン株式会社

16:15 ~16:40 「テラグリッド補強土工法」  
／岡三リビング株式会社・東京インキ株式会社

16:40 ~17:05 「つる性雑草侵入防止工法(つるガード工法)」  
／株式会社白崎コーポレーション

**申込方法** FAX.082-511-1431

別紙申込書に必要事項をご記入の上、  
FAXにて事務局宛にご返信をお願いします。

**参加費** 無 料

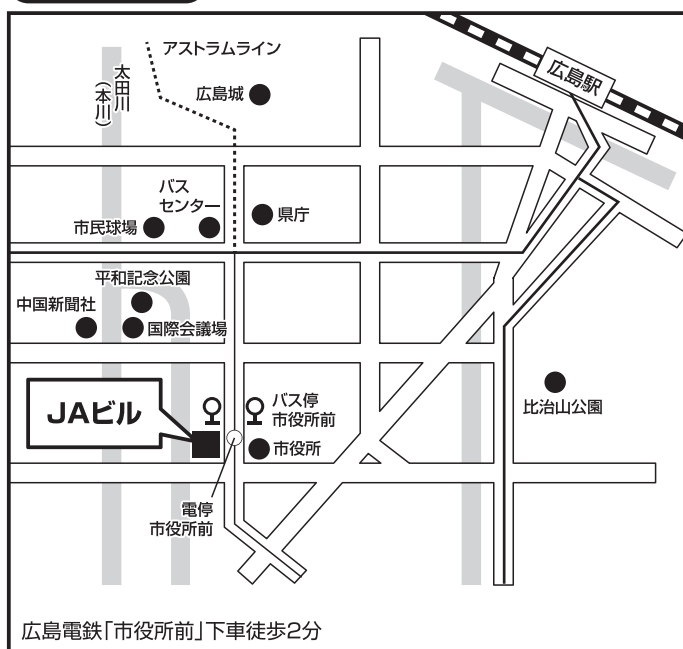
**申込締切** 2019年5月17日(金)  
(定員になり次第、締め切らせていただきます)

**持ち物** 本人確認ができるもの  
(CPDS技術者証、免許証等)

※本人確認ができない場合は  
受講証明書の発行はできません

**継続教育** CPDS認定プログラム  
■土木施工管理技士会(4ユニット)

## アクセス



問い合わせ先

一般社団法人 広島県建設工業協会 TEL.082-511-1430

# NETIS技術説明会

1

## 移動式ネットワークカメラ「モニタリングミックス」

株式会社アシストユウ

工事・技術者不要で簡単に移動も出来る360°操作可能なネットワークカメラ。電源を入れて3分で遠隔地のリアルタイムの動画をインターネットで配信、電源のない場所でもソーラーやバッテリーで対応可能。更に画像解析(AI)も搭載できる次世代型ネットワークカメラシステム。

2

## マルチジェット工法

マルチジェット工法協会

多孔管を使用した高圧噴射攪拌により壁状、扇形、格子状の任意の形状と、 $\phi 1.5\sim 8.0\text{m}$ の任意の改良径が設定できる深層混合処理工法。揺動が出来る、改良範囲を超えた部分が減少することで、硬化材噴射量、および排泥発生量が低減し、経済性の向上が図れる。

3

## G栈橋

太洋ヒロセ株式会社

高強度のG栈橋を桁に使用した、トンネル工事、高架橋工事の仮栈橋として最適なヒロセ工事例用栈橋シリーズ。長スパンに対応し、急速施工が実現可能。従来の大型H形鋼や急速施工栈橋よりも、支持杭本数を削減できるので、工期短縮に最適。

4

## 土留部材引抜同時充填注入工法

協同組合Masters

土留部材を周辺地盤に影響をほとんど与えることなく引抜く唯一の新技術。中でも軟弱地盤や堤防において仮設材にて土留めを行う場合には、本工法は非常に有効な技術です。従来、鋼矢板残置を前提としていた民家や地下埋設物などに近接した工事において、コスト削減と事業損失防止に役立つ。

5

## JETCRETE(ジェットクリート)工法、PneumaX(ニューマックス)工法

ケミカルグラウト株式会社

【ジェットクリート工法】高圧噴射による強度や改良径、形状等を任意に設定できる地盤改良工法。必要最低限の改良強度と効率的な形状や径による合理的な設計・施工が可能となる。

【ニューマックス工法】地山パッカ方式による薬液注入工法。三次元の自在ボーリング併用で既設構造物直下への注入も可能で、地中に注入機材を残置せず施工を完了できる。

6

## テラメッシュ工法、SECURE-G工法

エターナルプレザーブ株式会社

【テラメッシュ工法】盛土内水位の上昇を防ぐ補強材とふとん籠が一体となった強靱な構造である。主補強材としてジオシンセティックスを用いる補強土壁のTMHB工法や補強材部の裏込めに砕石を用いる擁壁TM-Y工法がある。

【SECURE-G工法】盛土直下の基盤にジオシンセティックスを挟み込んだ砕石層を構築し、液状化時の盛土の変形を抑制する工法である。レベル2地震動に対して性能2を満足する経済性と施工性に優れた工法である。

7

## コンクリート版沈下修正工法

アップコン株式会社

硬質ウレタン樹脂を使用して、高速道路などCO舗装版に生じた段差やバタつき、踏み掛け版下に発生した空隙・空洞の充填などの様々な変状を短工期で修正、早期規制開放を実現します。既存の舗装版を壊さず修正することでストックマネジメントにも貢献する工法です。

8

## テラグリッド補強土工法

岡三リビック株式会社・東京インキ株式会社

壁面に樹脂製のジオセルを用いた補強土工法で、従来は鋼製棒を用いた補強土工法で対応していた。本技術の活用により凍上や塩害に対する耐久性が向上し、さらに壁面裏の締固めが容易なため、壁面裏の土の安定性が高くなることが期待できる。

9

## つる性雑草侵入防止工法(つるガード工法)

株式会社白崎コーポレーション

つる性雑草類による法面への登攀や転落防止柵等への絡みつきを長期間防止する工法で、従来は機械除草(肩掛け式)で対応していた。本技術の活用により、道路除草費用の削減や視界不良・景観阻害などの問題が解消できるため、品質および安全性の向上が図れる。